おすすめICT活用事例のご紹介

区分	学年	教科等	単元等	活用ソフト
小	5	理科	振り子の運動	表計算ソフト

授業内容

振り子が1往復する時間を調べよう

活用ツール：テキスト入力・グラフ機能

準備：
・実験結果を集約してグラフ化するワークシートファイルを準備する。
・振り子が1往復する時間を求めるために、平均を使った計算方法を事前に説明する。
・計測する人やワークシートに数値を入力をする人など、班で役割分担をしておく。
・ワークシートファイルを共同編集できる場所に保存する。

授業の流れ：
1. ストップウォッチの使い方の練習をする。
2. ワークシートファイルから、指定された自分の班のシートを開く。
3. 振り子が10往復する時間を、振れ幅を変えて3回ずつ計測し、班のシートに入力し、ノートなどにも記録する。
4. すべての班の実験結果が集約されたシートを見て、気づいたことを班で話し合う。
5. おもりの重さを変えて、3～4と同様に実験と考察を行う。
6. 振り子の長さを変えると、どうなるか予想する。
7. 振り子の長さを変えて実験した結果を、3と同様に入力、記録する。
8. 全体で集約結果のシートを見て、3つの実験結果から気づいたことを共有し、各自で振り返り、まとめをノートなどに書く。

※授業時数２～3時間を想定

実験結果を入力するワークシート →

結果を集約してグラフ化するワークシート ↓

ICT利活用のポイント	実験結果の平均の計算を表計算ソフトが担うことで、結果の考察や意見交流の時間を確保できます。 共同編集することで、グループごとの実験結果をすべての子供に即時に共有ができ、比較しながら考察することができます。
おすすめポイント	ワークシート例をお使いいただけます。

Copyright © Benesse Corporation. All rights reserved